

初心者、若い人も大歓迎！すべての教員のための

1600年代までさかのぼる 家族歴史 基礎講座

2021年1月開講



場所：札幌ステーク 厚別ワード（オンライン配信あり）

1600年代まで先祖をさかのぼれる知識と技術を身につけることができます！



<https://bit.ly/3bHLu9G>

樺太や外地から引き揚げて来たご先祖も調べることができます！



オンラインを利用した最先端の家系調査ができるようになります！

↑
お申し込みは
URLまたは
QRコードから！

講師：岸本良信

系図学、固有名詞学（人名字）研究者

除籍を超えた
家族歴史の世界を、
一緒に探求しましょう！



年間に300家近い家系の調査アドバイスや除籍解説を行い、これまでに関わった先祖調査はゆうに5,000家以上にのぼる。カルチャーセンターなどで直接指導した受講生は約20年間で500名以上。講演会で先祖調査のノウハウを教えた方々は数万人に及ぶ。2001年には『道産子のルーツ事典』(中西出版)を刊行。

お申し込み・お問合せはQRコード、URLからお申し込みフォームにて、
または裏面に記載の担当者までご連絡ください。

家族歴史基礎講座

カリキュラムの紹介

第1回 はじめに～ご先祖はどこまでさかのぼれるのか～

1月9日（土）14:00～16:00

1月15日（金）19:30～21:30

あなたのご先祖は、はたしてどこまで正確にさかのぼることができるのか。日本に残されている記録から家系調査の遡源の限界点について考えます。また、先祖調査のために使用する記録、情報源について概説します。

第2回 樺太や外地から引き揚げて来たご先祖を調べる

1月16日（土）14:00～16:00

2月12日（金）19:30～21:30

戦後、外地と呼ばれていた地域から引き揚げて来た家の場合、外地へ渡る以前の本籍地が不明だったり、外地に住んでいた当時の状況がよく分からぬといふことがよくあります。そのようなときには国立公文書館に所蔵されている引揚者在外事実調査票を調べることによって、外地時代の家族状況、戸主の職業、引揚港と船名などを知ることができます。また、政府が支給した引揚者給付金を申請した家については、その申請書を都道府県庁で調べることによってやはり外地時代の状況や引揚経路などを知ることができます。

第3回 旧土地台帳入手する

2月13日（土）14:00～16:00

2月19日（金）19:30～21:30

明治6（1873）年の地租改正により土地の税は米納から金納に切り替わりました。それにあわせて地券が発行され、明治22（1889）年からは地租（固定資産税）の徴収のため土地台帳が作成されて全国の税務署に備え付けられるようになりました。土地台帳には所有者、用途、地積、地価、地租などが詳細に記載されています。この土地台帳は現在、法務局に移管され、誰でも、どこの土地のものでも、無料で取り寄せることができます。これを家系調査に利用する方法について学習します。

※期間は、2021年1月から3月までの3ヶ月間で、月2講座、計6講座です。

※各講座は、昼の部（土曜日）と夜の部（金曜日）があります。どちらの講座に参加しても構いませんが、申し込みの際には、どちらかの曜日で申し込みいただきます。

場所 札幌ステーク 厚別ワード（オンライン配信あり）

※コロナウイルスの状況により、オンライン配信のみになる場合もあります（Microsoft Teams使用）

※厚別会場参加はご自宅にインターネット環境が無い方を優先させていただきます。

希望者多数の場合は抽選とさせていただきますのでご了承ください。

定員 会場参加：10名 オンライン参加：定員なし

参加費 無料（講座に参加する皆様にPDF資料を事前に配布します）

<https://bit.ly/3bHLu9G>

お申し込み方法 右のURLまたはQRコードからお申し込みフォームにて→

または担当者までご連絡ください。※受付期間：12月28日（月）まで

Email：kmp@vesta.ocn.ne.jp TEL：090-8633-8925（準備委員会 今野）

第4回 ご先祖が住んでいた故地の歴史を調べる

2月26日（金）19:30～21:30

2月27日（土）14:00～16:00

ご先祖の住んでいた故地が江戸・明治時代、どのような場所だったのかを知ることは、ご先祖の暮らしを想像する上で欠かせない知識です。これを知るために『角川日本地名大辞典』や『歴史地名大系』のような地名辞典を読み、故地の歴史的な沿革を学びます。両辞典の引き方と書かれている内容の理解方法について解説します。

第5回 自宅で出来るオンラインを利用した先祖調査

3月12日（金）19:30～21:30

3月13日（土）14:00～16:00

欧米ではFamilySearchやAncestry.comのようなオンラインで家系情報を提供するサイトにアクセスし、先祖を探す調査方法が一般的です。日本にはまだそのような大規模なサイトはありませんが、国立国会図書館のデジタルコレクションでは膨大な量の明治以降の名簿が公開されていますし、東京大学史料編纂所のサイトでも多くの系図を見ることができます。このようなオンラインを利用した最先端の家系調査について解説します。

第6回 故地の菩提寺を訪問し過去帳を調べる

3月26日（金）19:30～21:30

3月27日（土）14:00～16:00

故地には必ずご先祖が葬られた菩提寺があります。地名辞典によってその地域に古くからある寺院をピックアップし、ネットで住所を調べ、調査協力を依頼する手紙を送ります。これによって菩提寺が発見されると、除籍を超えて1600年代までのご先祖を菩提寺の過去帳や墓石によって知ることができます。菩提寺の過去帳は死者を知る情報源としては除籍、宗門改帳と並んで一級の史料です。

